

## 岐阜県可茂工業用水道事業の紹介

### ○事業の趣旨

可茂工業用水道事業は、既存企業ならびに東海環状自動車道の開通による企業立地の増加に伴い増大することが見込まれる水需要に応え、産業の振興に貢献することを目的に事業を行っている。

東海環状自動車道の開通などを要因として給水区域内の工場建設及び工業用水需要は増加基調にあり、今後ますます当事業の果たす役割に期待が増すところとなっている。

### ○事業の経緯

当事業は、可茂地域の1市2町へ計画給水量13,500m<sup>3</sup>/日を給水するため、平成7年度に補助事業採択を受け、8年～9年度に施設を建設、10年4月より給水を開始し、12～13年度には給水区域内の工業団地整備に合わせた管路の拡張、14年度にはポンプ施設の整備等により、地域の工業用水需要に込えている。

15年度からは水資源及び施設の有効活用や事業経営の向上等を図るため、公園などへの雑用水の供給を行っている。

施設建設は、段階的整備方針のもと一部が未了となっている。

### ○ユーザーの概要

(平成18年11月現在)

業種	給水件数	契約水量 (m <sup>3</sup> /日)
製造業	6	2,052
雑用水	2	336
合計	8	2,388

### ○工業用水道施設の概要

当事業は、利水・治水・発電用多目的ダムとして共同負担方式により建設された岩屋ダム（岐阜県下呂市）を水源とし、清流飛驒川において取水（表流水）後、約17kmの木曾川用水を経て美濃加茂市より専用施設へ導水（0.9km）している。岩

屋ダム及び木曾川用水は、独立行政法人水資源機構の管理である。

配水場からは、原水を自然流下方式1ルート（13.2km）とポンプ圧送方式1ルート（1.4km）の計2ルートにより配水し、その管径は、導水管はφ600～900mm、配水管はφ75～450mmである。現施設能力は、9,760m<sup>3</sup>/日である。

### ○事業の特徴

- ・取水地点は飛驒木曾川国定公園の清流飛驒川上流にあつて、良質な原水が確保される。
- ・施設は平成9年3月に完成した新しい施設であり、耐震性を有する管路により安定給水を行っている。
- ・将来的な需要の増加に対応する豊富な水量を確保している。
- ・配水管は東海環状自動車道の美濃加茂IC周辺及び最寄りの工業団地に整備しており、進出企業に対してスムーズに水を供給することが可能である。

### ○岐阜県都市建築部水道企業課のホームページアドレス

[http://www.pref.gifu.lg.jp/pref/s11664/suidou/suidou\\_top.htm](http://www.pref.gifu.lg.jp/pref/s11664/suidou/suidou_top.htm)

